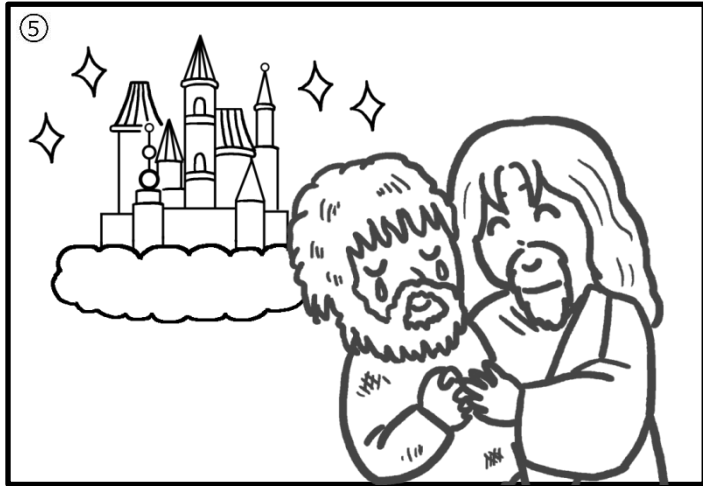
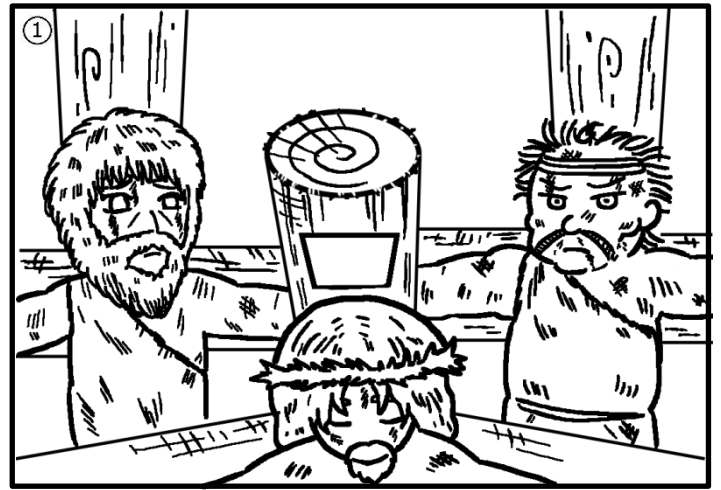


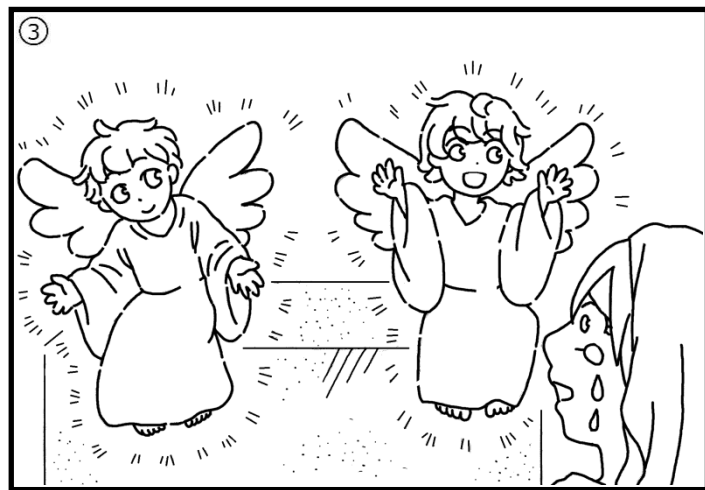
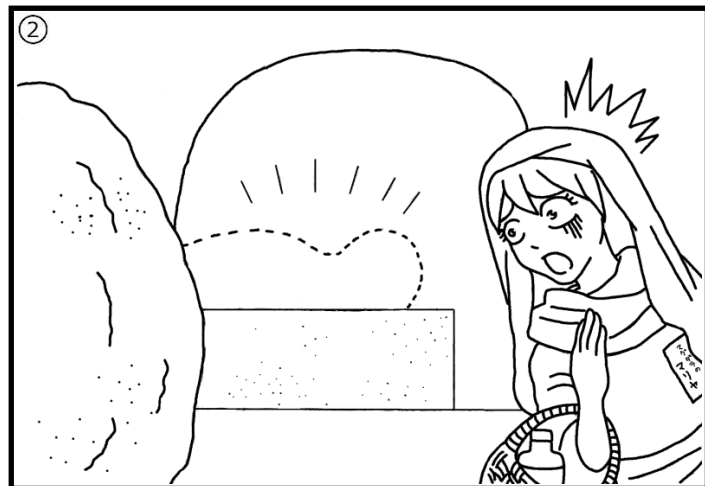
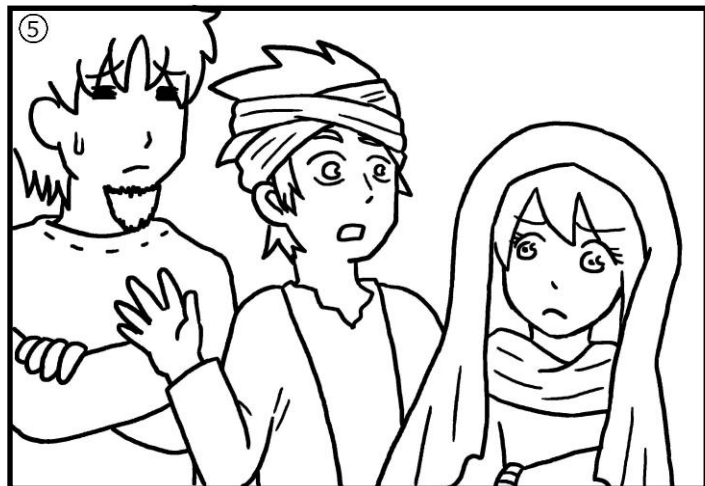
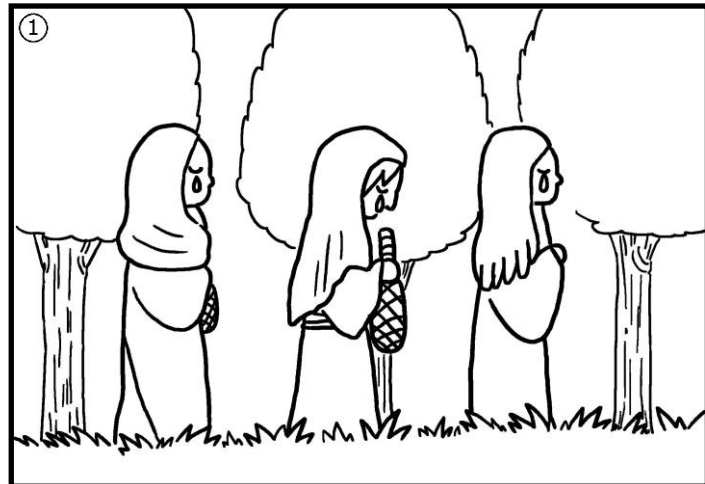
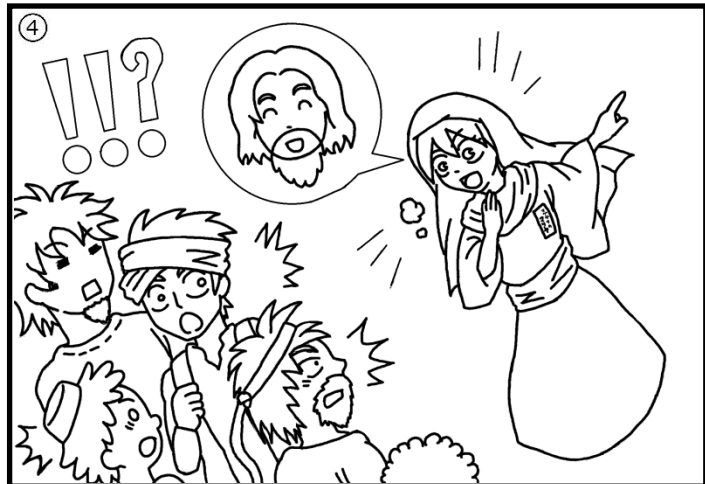
#### 4月7日 父よ、彼らをおゆるしくください ルカ 23・32～38

1. イエス様は、祭司長たちに引き渡され、十字架にかけられることになりました。
2. 十字架刑は、死ぬまでにとても苦しい思いをする、いちばん残酷な罰でした。罪のないイエス様が、他の二人の犯罪人といっしょに十字架につけられたのです。
3. 「神のキリストなら自分を救え」といった役人たち。
4. 酸いぶどう酒を突きつけながら「あなたがユダヤ人の王なら自分を救え」と侮辱した兵士たち。
5. イエス様はこのような、自分のことしか考えない人たち、イエス様を苦しめ、ばかにし、裏切り、十字架につけた人たちのことを思って「父よ彼らをおゆるしくください。彼らは何をしているのかわからないのです」と祈ったのです。
6. イエス様の十字架がわたしたちの罪のためであることを受け止めて、イエス様に喜ばれる生活をしてゆきましょう。



#### 4月14日 十字架の救い ルカ 23・39～43

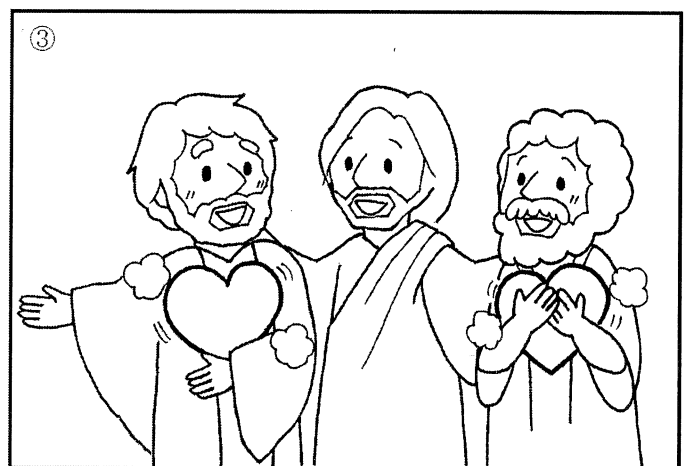
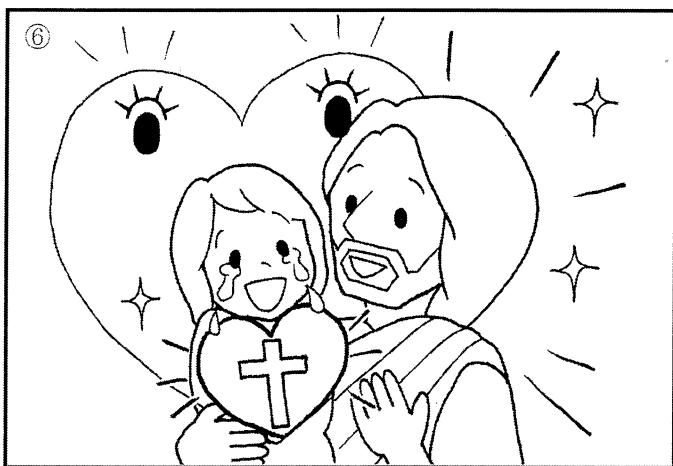
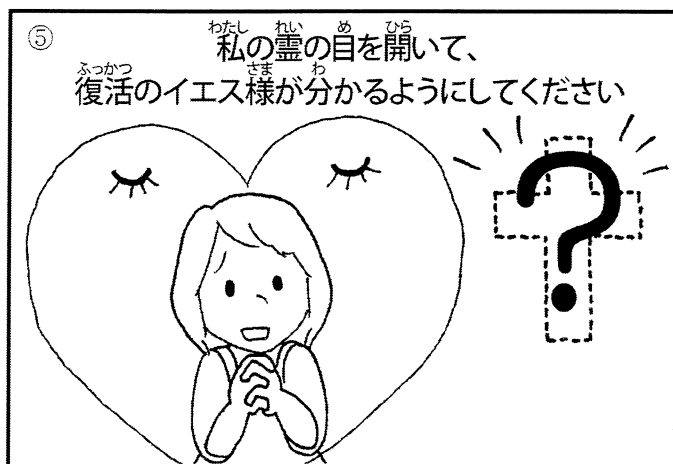
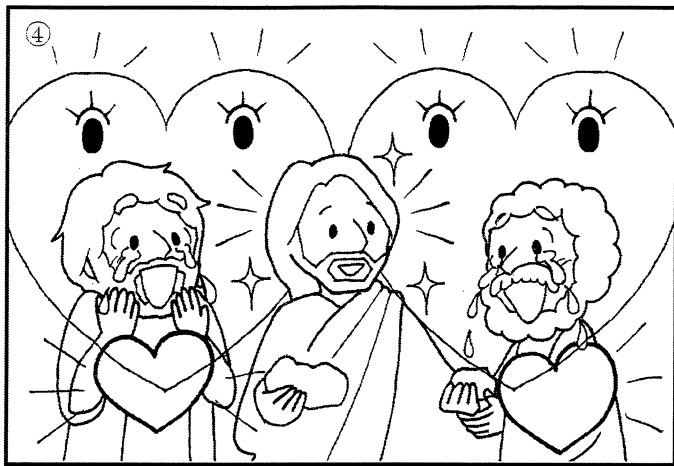
1. イエス様が十字架につけられたとき、いっしょに十字架につけられた人がふたりいました。このふたりは強盗でした。
2. 犯罪人のひとりはいエス様に「あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救ってみよ」と悪口を言いました。
3. もうひとりの犯罪人がそれをたしなめて言いました。「おまえは同じ刑を受けていながら、神を恐れないのか。お互は自分のやった事のむくいを受けているのだから、こうなったのは当然だ。しかし、このかたは何も悪いことをしたのではない」イエス様こそが何も罪を犯していない正しい方であることを信じたのです。
4. この犯罪人は、自分の罪を認め「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください」と言いました。
5. イエス様は「よく言うておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」と言われました。
6. 「パラダイス」は、イエス様がいっしょにいてくださるところです。イエス様がいっしょにいてくださるということは、もう滅びないということです。



#### 4月21日 イエス様はどこに? ルカ 24・1～12

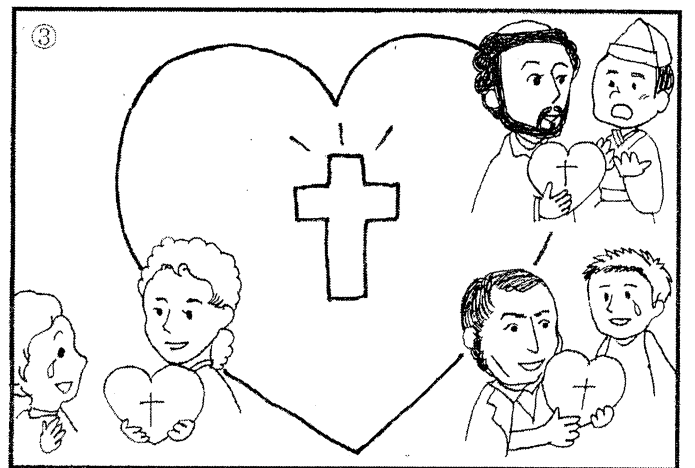
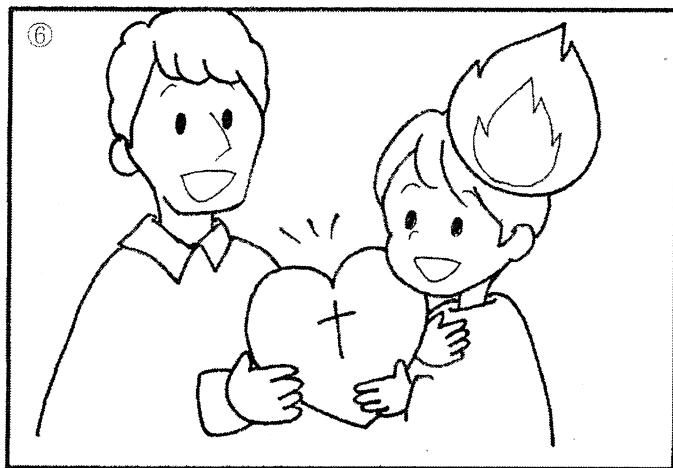
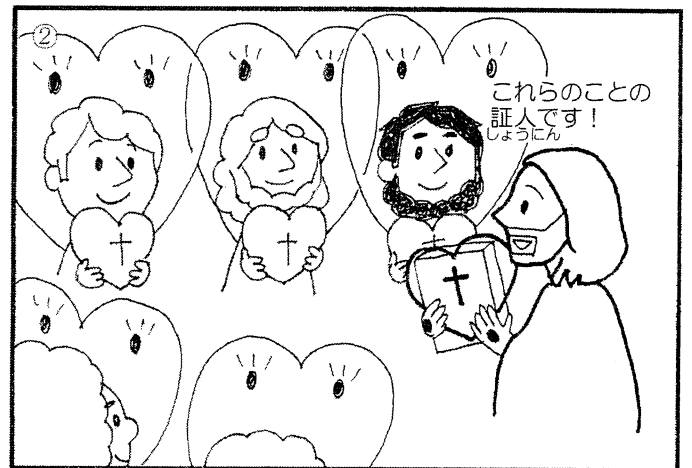
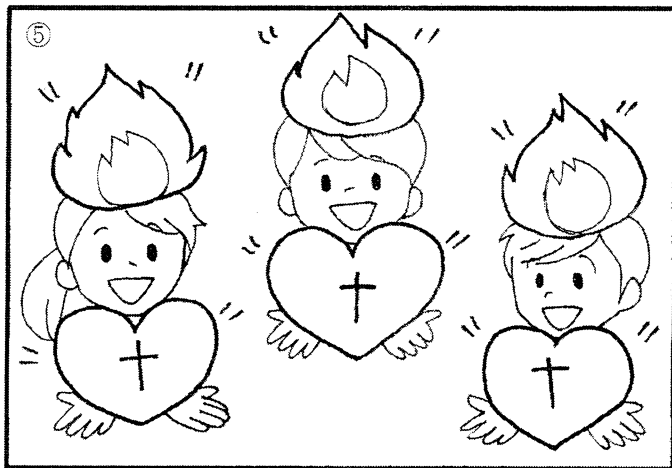
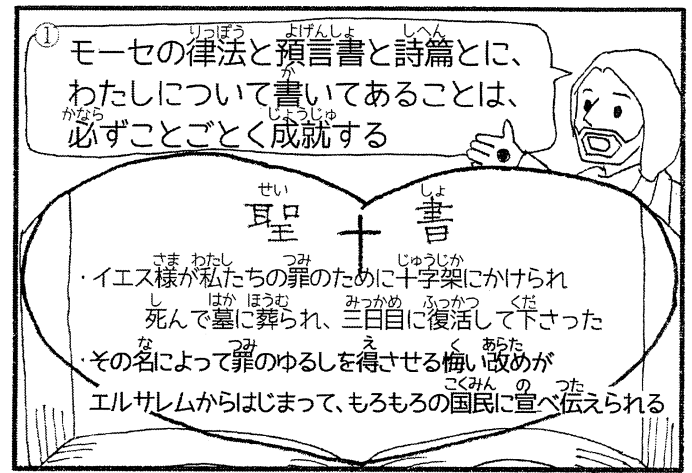
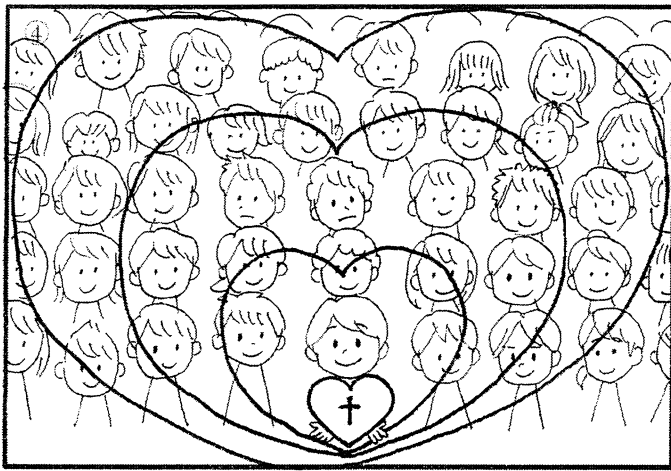
1. マグダラのマリヤと何人かの女の人たちは、イエス様のからだを、もっといいに、きれいにしてお墓に入りたいと思い、日曜日の朝早く、香料や香油をもってお墓に急ぎました。
2. 大きな石が転がしてあって、お墓の入り口が開いていたのです。おそろおそろ中に入ってみると、イエス様のからだはありませんでした。お墓は空っぽだったのです！
3. 輝く服を着た二人の御使いが現れました「イエス様は、お墓にはいません。よみがえられたのです。」
4. マリヤたちはお墓で見たことを弟子たちや、まわりの人たちに伝えました。
5. 弟子たちは「そんなばかな」「イエス様は十字架で死んだじゃないか。死んだ人間がよみがえるわけないよ」と信じませんでした。
6. よみがえられたイエス様といっしょに、いつもイエス様の喜ぶことができるように、お祈りして励みましょう。





#### 4月28日 「復活のイエス様に出会う」 ルカ24・13～32

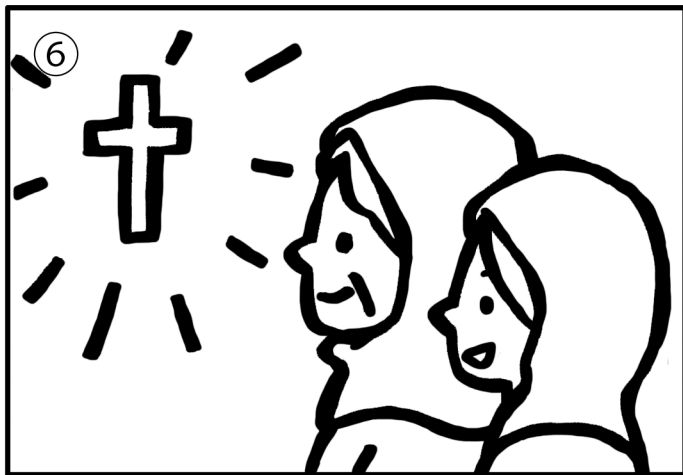
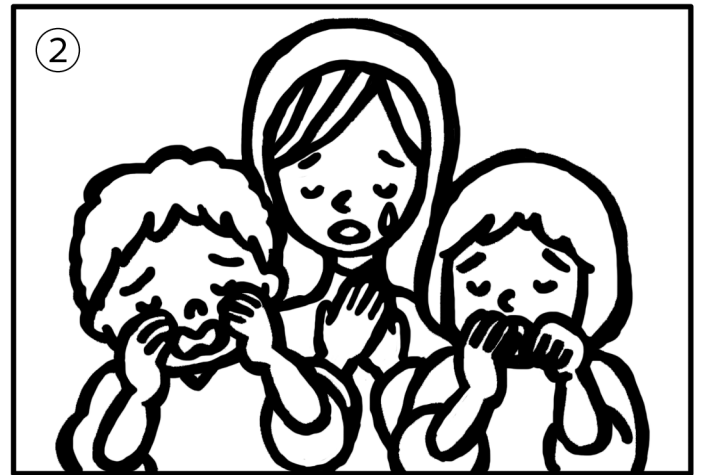
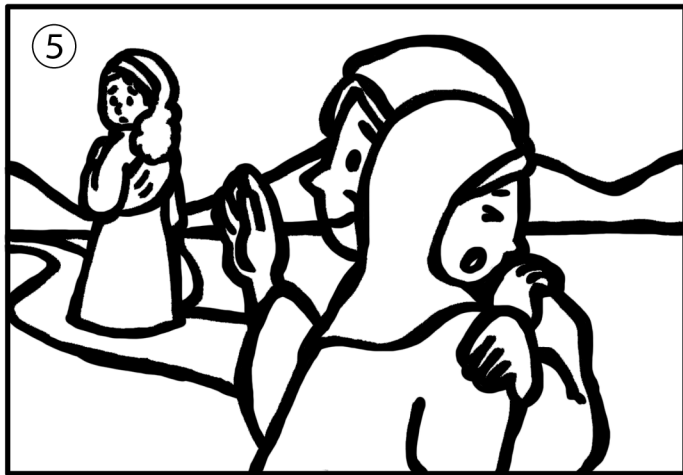
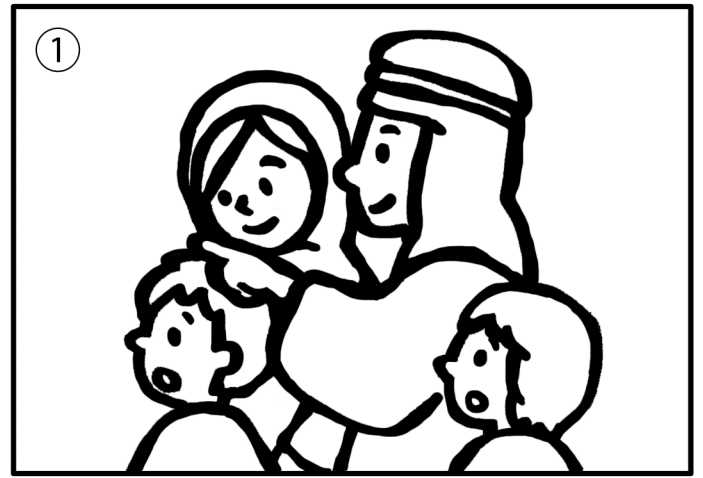
1. 死を打ち破り、死から復活されたイエス様。
  2. 二人の弟子たちの前にイエス様が来られたが、二人の弟子たちは霊の目がさえぎられていて、イエス様だと気付かない。
  3. イエス様は、弟子たちに聖書に約束されているご自分のことについて話された。弟子たちは心が燃えてきている。左の弟子はイエス様に「一緒に泊まってください」と言っている。
  4. 弟子たちの霊の目が開かれて、イエス様であることに気づき、喜んでいる。
  5. 復活のイエス様が分からず、祈る女の子。
  6. 霊の目が開かれて、いつも共にいてくださる復活のイエス様に出会うことができ、大きな喜びが与えられた女の子。
- ※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



## 5月5日 「キリストを共有しよう」 ルカ 24・44～53

1. 聖書に書いてあることは、必ず成就するとおっしゃったイエス様。
2. 「これらのことの証人です」と弟子たちに伝えるイエス様と、心が開かれ理解する弟子たち。
3. キリストを伝えてきた人たち。
4. 日本のクリスチャンは少数派で、イエス様の恵みを伝える証人にされている。
5. イエス様は、イエス様を伝えるために必要な力、約束の聖霊も与えてくださる。
6. 約束の聖霊により力が与えられ、家族にイエス様の恵みを伝えている男の子。

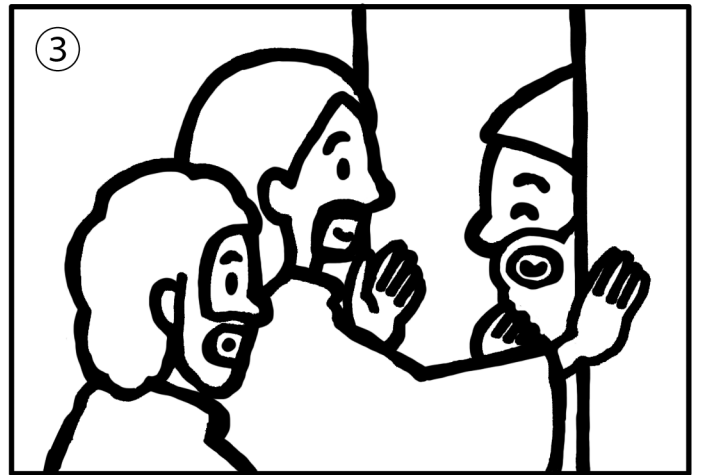
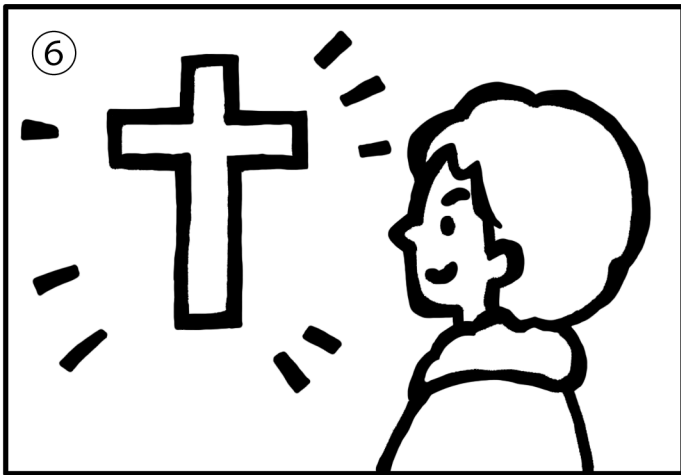
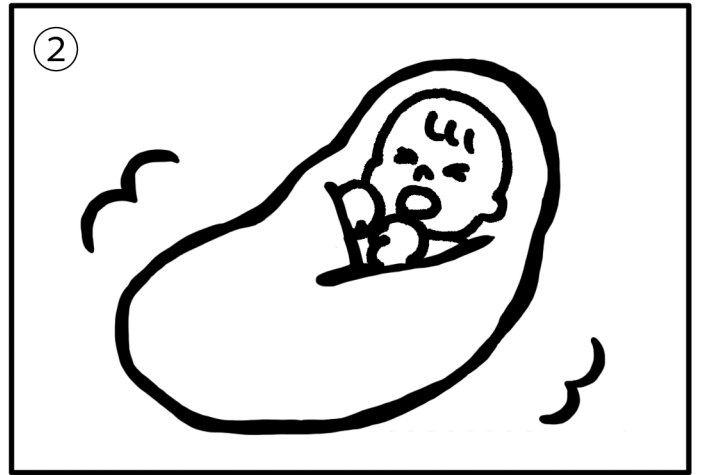
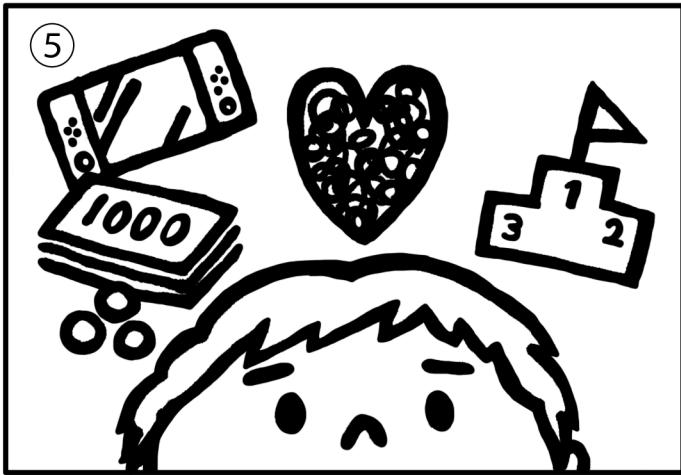
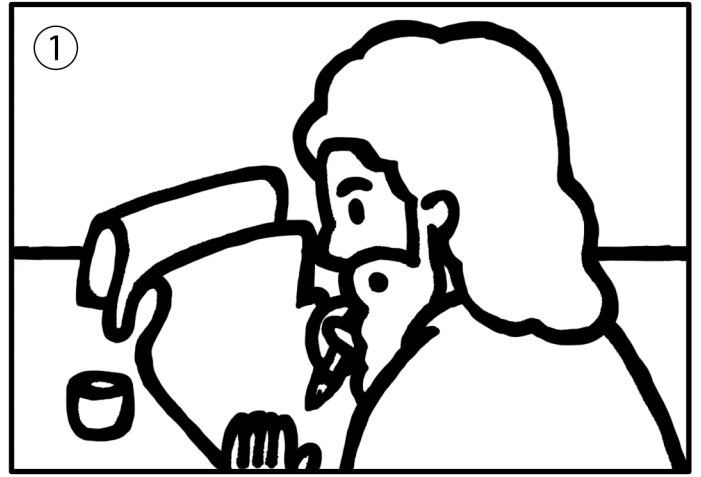
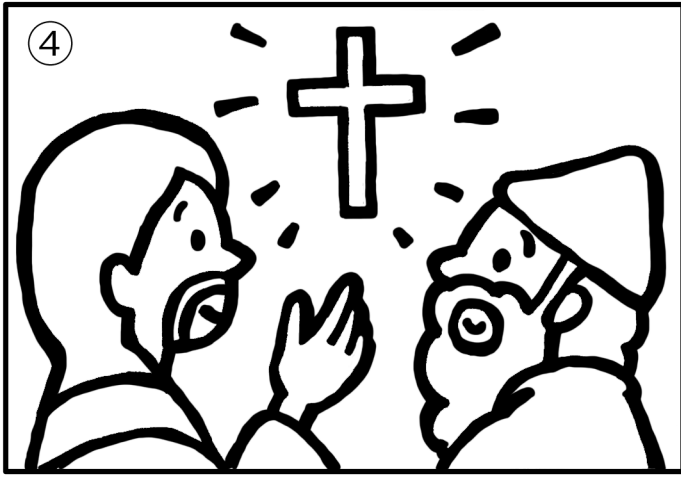
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



5月12日 神に祝福された人ルツ（母の日） ルツ1・15～18

1. 二人の食べ盛りの男の子を抱えているお父さんは、イスラエルの国に飢饉があり食べるものがなくなった時、奥さんと子供たちを連れて隣の国に移住しました。
2. 一家の働き手のお父さんが死んでしまい、ナオミと二人の男の子が残されました。
3. 二人の息子が次々と死んでしまい、ナオミと息子たちのお嫁さん二人が残されました。悲しみのどん底の中で、ナオミは一大決心をしてふるさとへ帰ることにしました。お嫁さんたちも一緒についていきました。
4. 旅の途中でナオミはお嫁さんたちに「自分の家に帰りなさい。」と言いました。お嫁さんたちは泣きながら「一緒に行きます」と答えました。
5. ナオミが強く勧めるので一人のお嫁さんオルパは泣く泣く帰っていきました。ところがもう一人のお嫁さんルツはナオミにすがりついて離れようとしません。
6. ルツはナオミと生活を共にするうちにナオミの信じる神様を信じ、ゆるぎない信仰を培っていたのです。

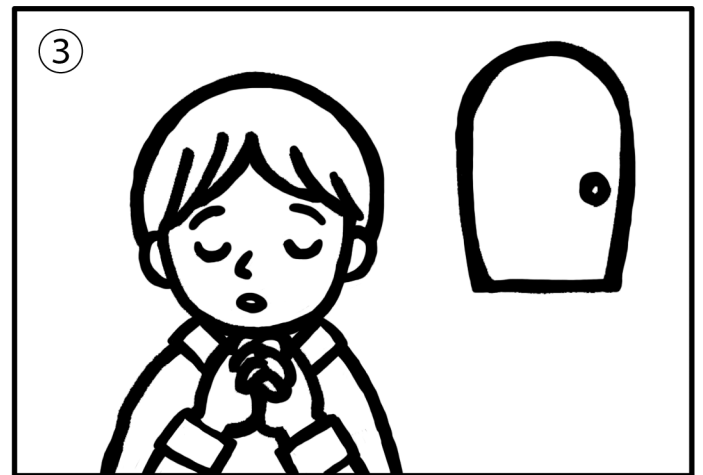
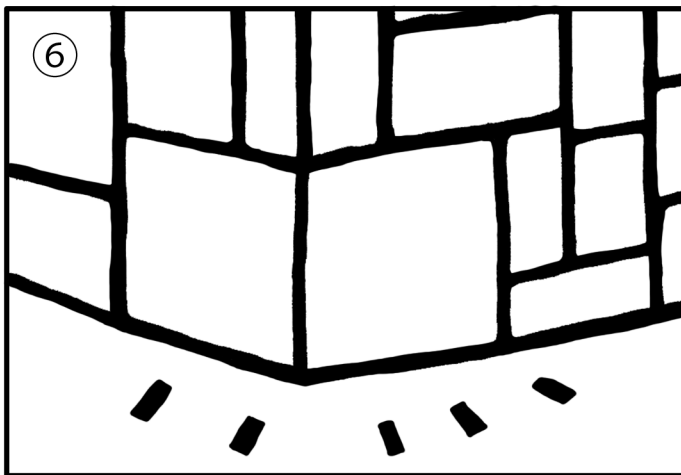
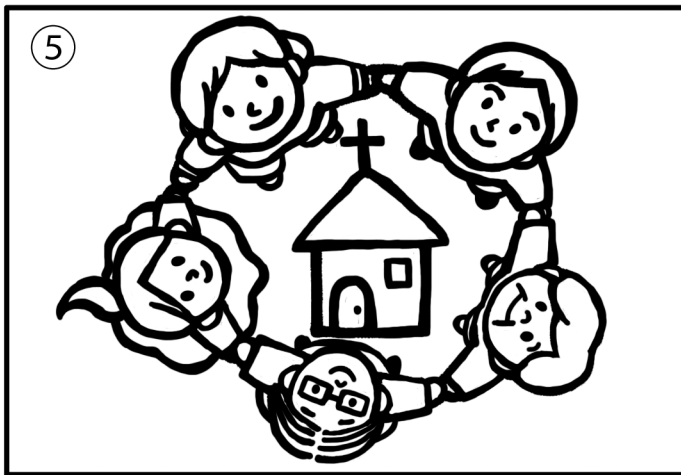
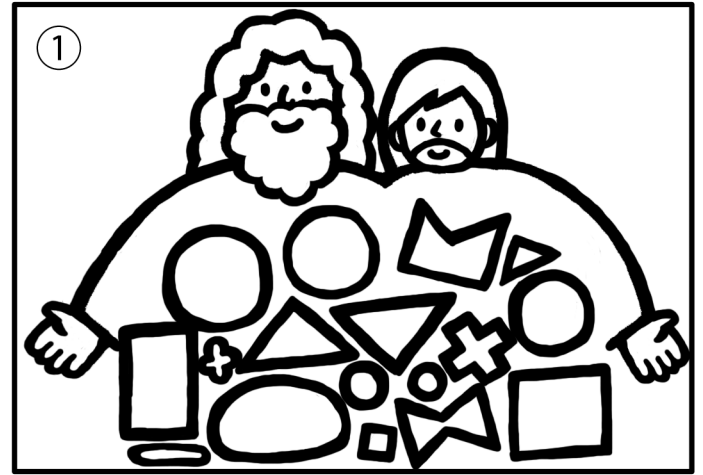
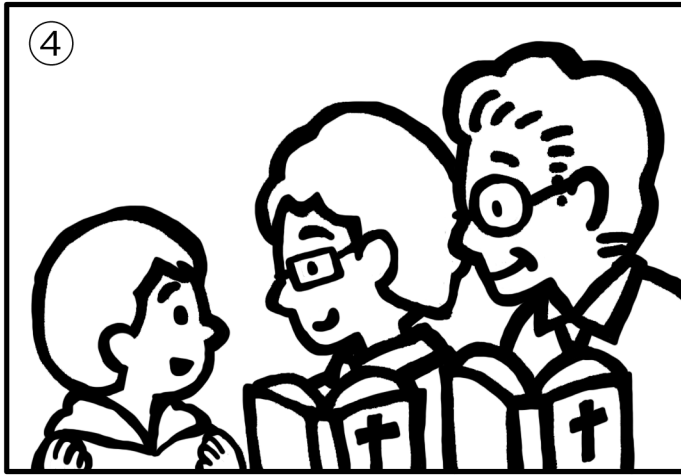
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



5月19日 世に勝つ神さまの子ども | ヨハネ5・1～5

1. 迫害にあい島流しになったヨハネは、パトモス島で神様の素晴らしい預言の言葉を「黙示録」として書き残して死んだのです。
2. ヨハネは、イエス様をキリスト、救い主と信じる者は神から生まれたものである、と言っています。
3. ヨハネは、夜人目を避けてたずねてきたニコデモという先生とイエス様の会話をそばで聞いていました。
4. ニコデモ先生にイエス様はこう言いました。「だれでも新しく生まれなければ、神の国を見ることはできない。」
5. わたしたちの心の中には、自分でどうすることもできない罪の性質があります。また、目の欲や持ち物の誇り、地位の誇りなどがあります。
6. イエス様を信じて神から生まれた者となる時、わたしたちはイエス様に似たものに変えられ愛に生きるものとされるのです。世に勝つ者は、愛する者です。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大

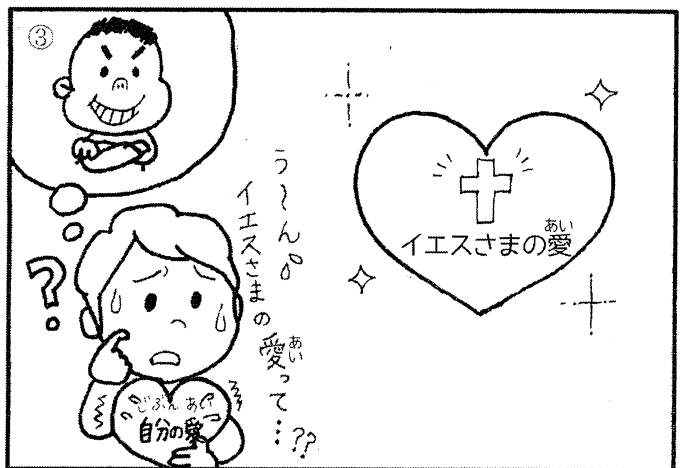
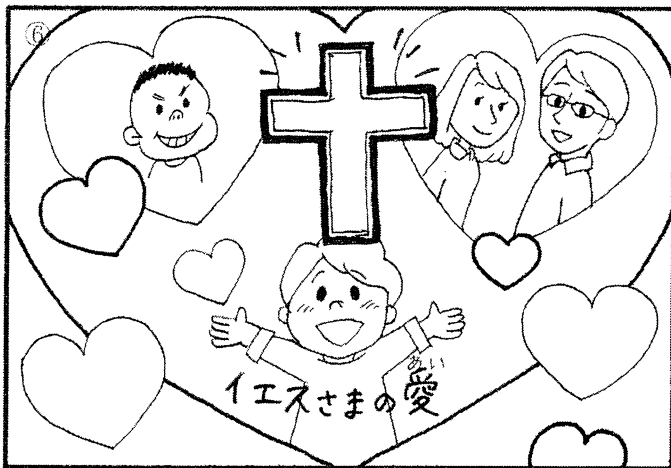
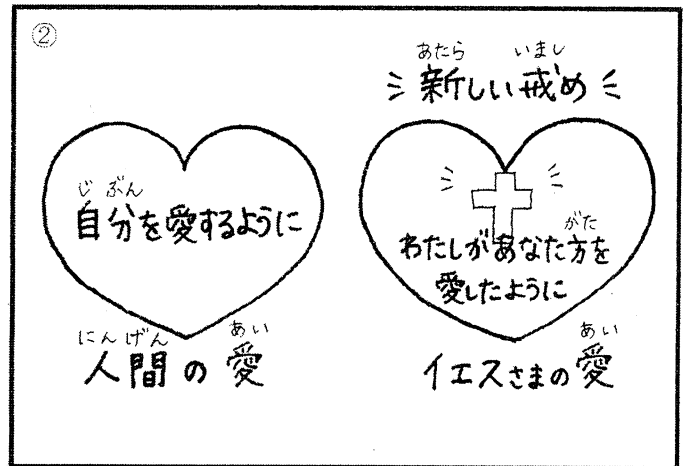
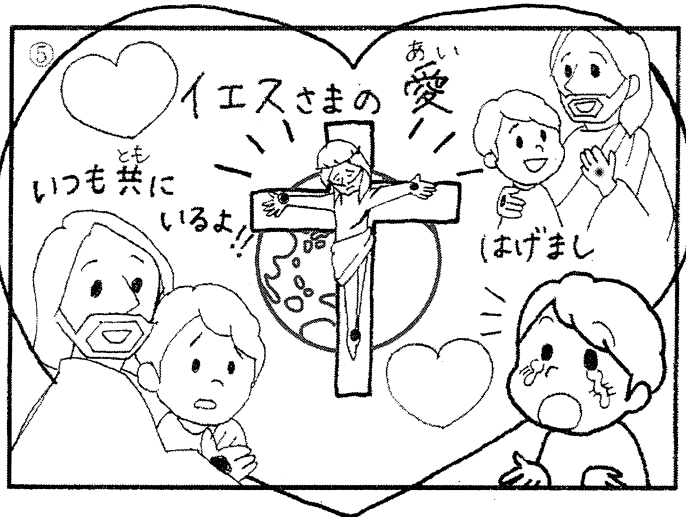


5月26日 神の家族 エペソ2・19～22

1. パウロは、「あなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍のものであり、神の家族なのである。」といってエペソ教会の人宛に手紙を書きました。
2. イエス様は安息日に病人を癒されました。それをとがめたユダヤ人に「わたしの父は今に至るまで働いておられる。」と答え、神を自分の父と呼んでおられました。
3. 「あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においてになるあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。」
4. 本来家族は、父なる神がご自分の子どもたちに、神と人との関係を正しく伝えるために設定された最小の単位です。しかし、人は神のもとから遠く離れ、神を見失ってしまったのです。
5. わたしたちがイエス様の十字架の血できよめられ救いにあずかったならば、私たちの国籍は天に登録され、神の家族として迎えられるのです。
6. 神のからだなる教会を共に建て上げ、栄光をあらわす神の家族の一員となるよう励みましょう。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大

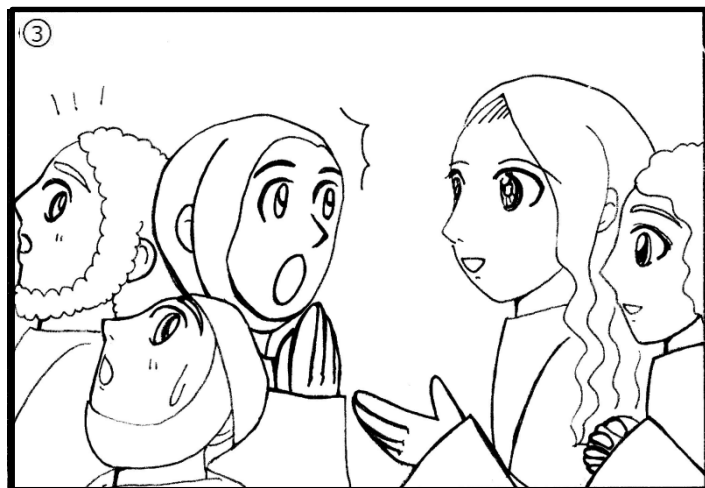
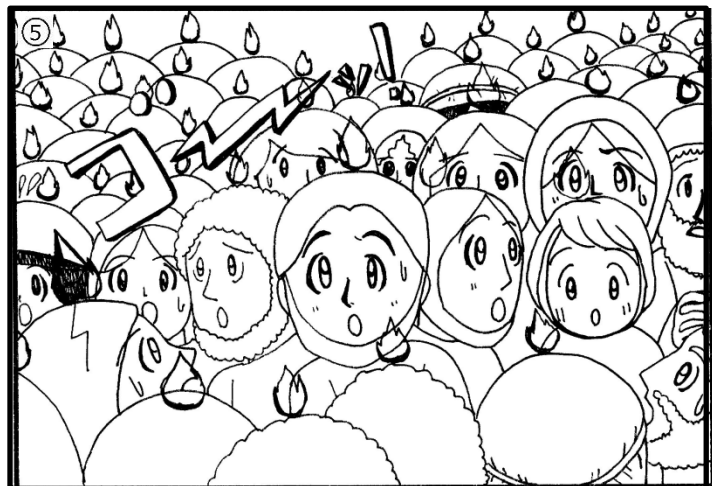




6月2日 「互いに愛し合おう」 ヨハネ 13・34～35

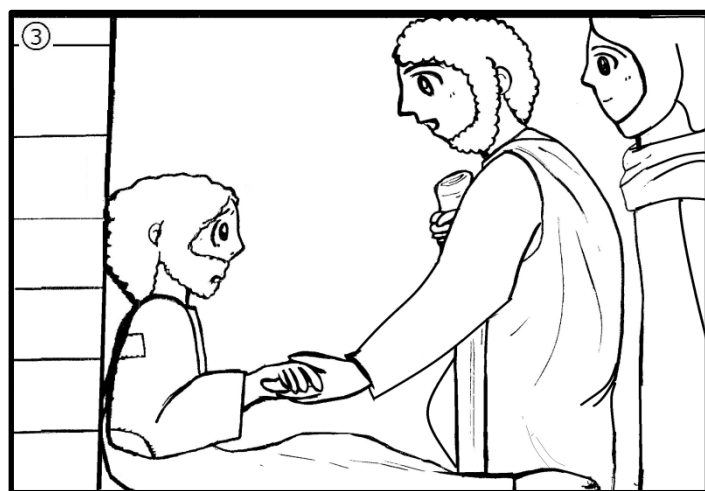
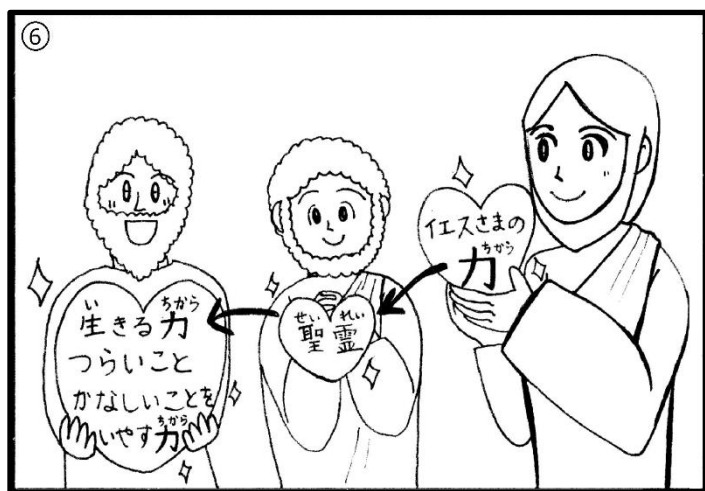
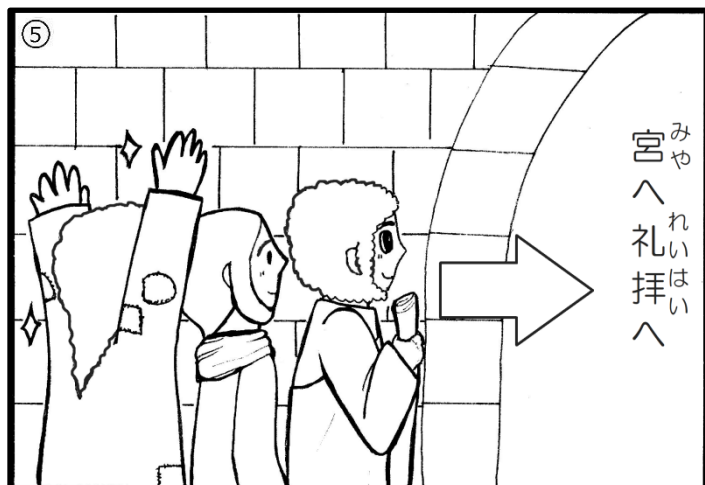
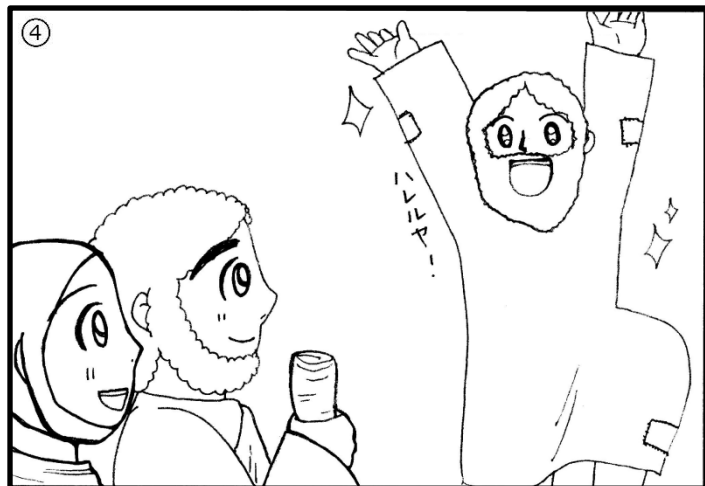
1. 新しいいましめを与えるイエス様。
2. 旧約聖書にある愛しなさいの基準は人間の愛。新しいいましめの基準は、イエス様の愛。
3. 嫌な人の顔が浮かび、愛することを悩む男の子。
4. 自分には愛する力がなく、「神様、助けてください」と祈る男の子。
5. イエス様がどのように愛してくださったかを思い出す男の子。
6. イエス様の愛を知り、イエス様の愛の中で、お友達や家族を愛する男の子。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



# 6月9日 ペンテコステ 使徒1・6～14、2・1～4

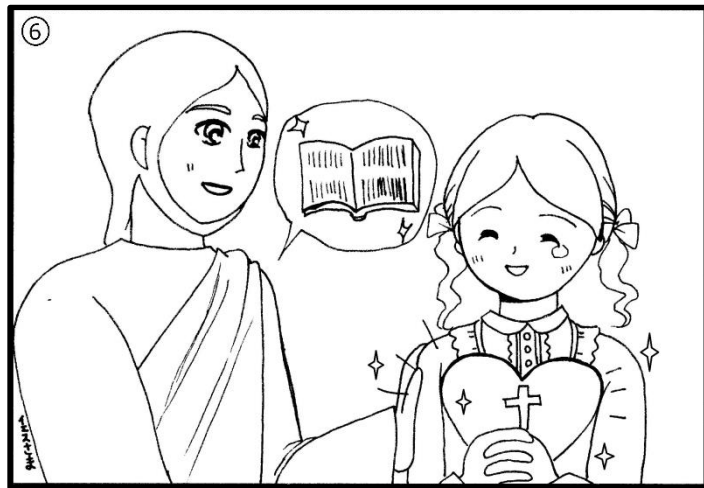
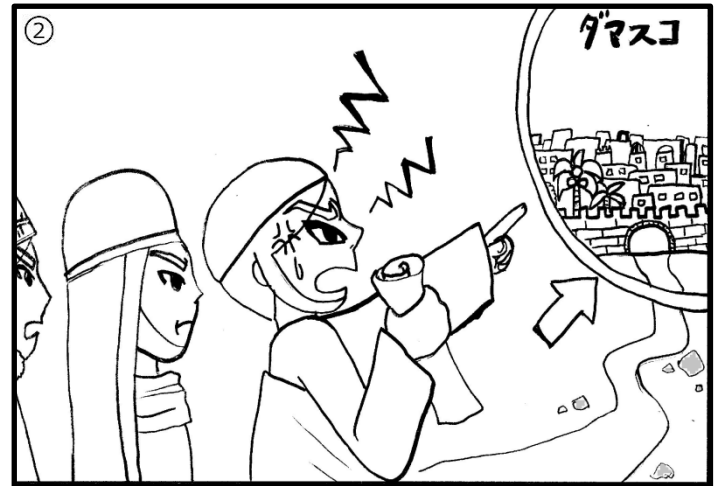
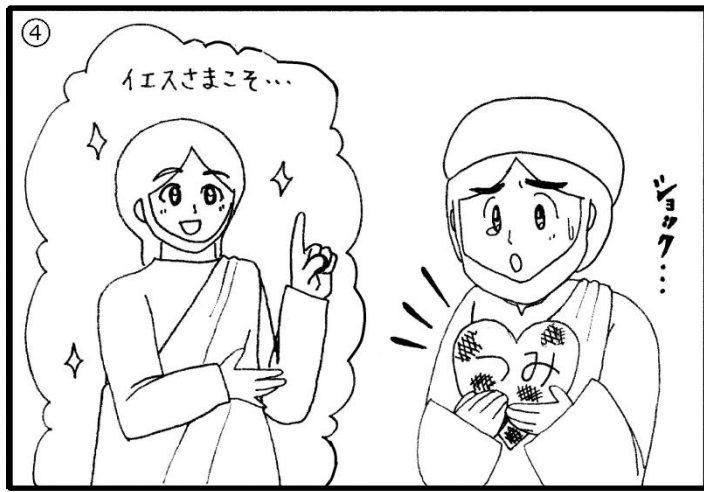
1. イエス様は「ただ、聖霊があなたがたにくだるとき、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるでしょう」。
2. イエス様はみんなが見ている前で天に上げられ、雲の中にかくれて、そのお姿が見えなくなっていました。
3. 天を見つめている弟子たちのそばに、白い服を着たふたりの人が立って、言いました。
4. 弟子たち、他数百二十名ほどの大人数で、イエス様が約束してくださった「もう一人の助け主」が与えられることを求めて、ひたすら祈ったのです。
5. 弟子たちが一緒に集まっていると突然激しい風が吹いてきたような音が天から起こり、部屋いっぱいに響きわたりました。また、舌のようなものが、炎のように分かれて現れ、ひとりびとりのの上にとどまったのです。
6. 聖霊が心の内側にいてくださるということで、恐れず、熱心にイエス・キリスト以外に救いはないと、宣べ伝えるようになりました。



## 6月16日 イエス様からパワーをもらおう！ 使徒3・1～10

1. ペテロとヨハネはお宮に上ろうとしていた時、一人の生まれながらに足が悪く、一人では歩くことができない四十歳位の男の人がかかえられてきました。お宮に来る人たちからお金をもらって生活をしていました。
2. 男の人はペテロとヨハネにお金をくださいとお願いしました。多くの人が見て見ぬふりをする中、ペテロたちは男の人をじっと見つめて「わたしたちを見なさい」と言いました。
3. ペテロは「金銀はわたしにはない。しかしわたしにあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい」それだけでなく、ペテロは男の人の右手を取って起こしてあげました。
4. 足と、くるぶしがたちどころに強くなり、彼は踊りあがって立ち、歩き出したのです。
5. それから、ヨハネ、ペテロとともに、お宮に神様を礼拝するために入っていました。
6. イエス様の力！それは、わたしたちに生きる力を与えてくれます。つらいこと、悲しいことをいやす力があります。イエス様からの希望と愛が心にあふれてきます。



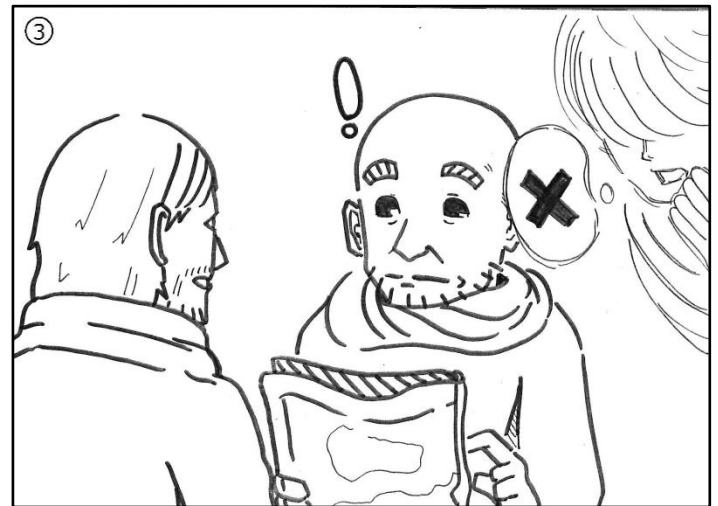
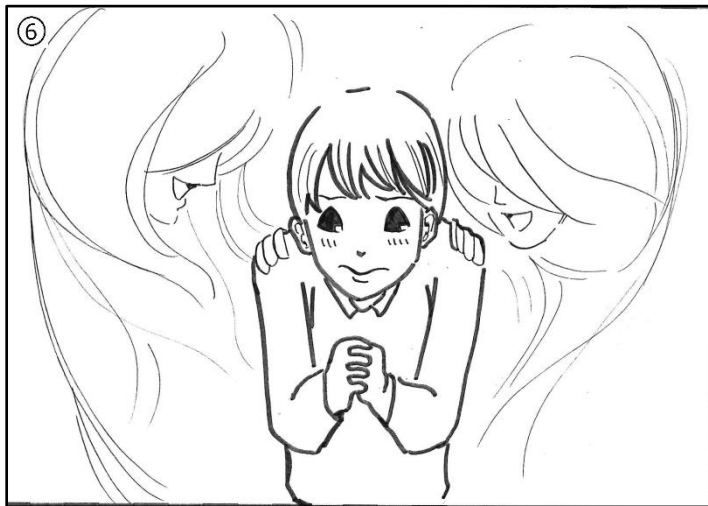
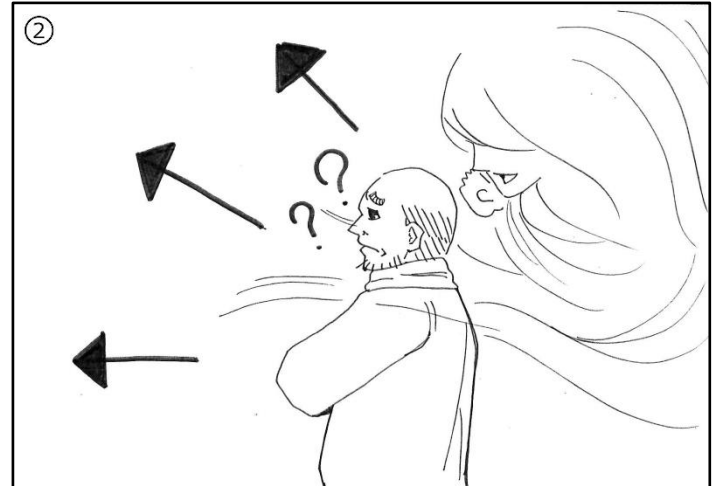
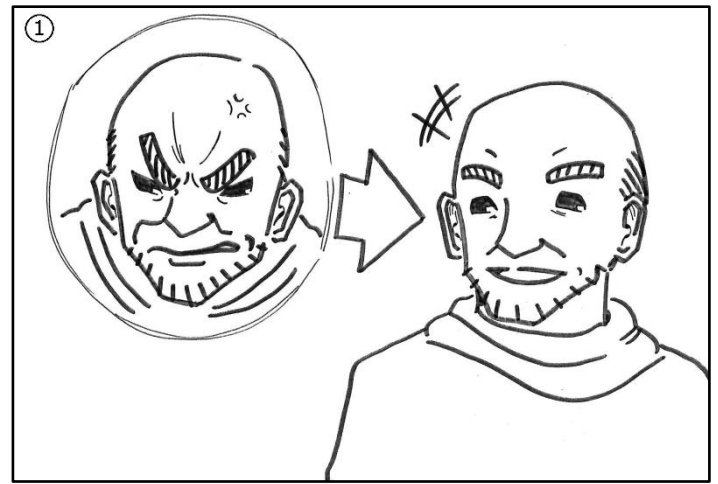


## 6月23日 サウロの回心 使徒 9・1～19

1. 以前は教会の皆を苦しめる（迫害する）大迫害者、教会の敵だったのです！
2. サウロさんはクリスチャン達に対する憎しみと怒りに燃えて、まるで鬼のような、悪魔のような、恐ろしい顔つきをして、ダマスコという町に向かっていました。
3. 道の途中、突然、物凄くまぶしい天からの光に照らされ、サウロさんは思わず地面に倒れてしまいました。
4. サウロさんはイエス様の光に心を照らされ、今までの自分の罪と間違いが分かり、イエス様こそ、神の御子・救い主である事が分かりました。
5. 心の目が開かれ、体の目も見えるようになって、大迫害者から大伝道者に生まれ変わったのです！
6. イエス様は今も私たちの心に「〇〇よ、〇〇よ」とみ言葉で語りかけられ、私たちの心を照らされます。そして私たちの罪と間違いに気づかせ、愛とゆるしを与えて、あなたを造り変えてくださるのです。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。





# 6月30日 マケドニヤからの叫び 使徒 16・6～10

1. イエス様は本当に人を新しく造り変える事がお出来になるのです！イエス様ってスゴイですね。
2. 聖霊なる神様が…救いを求める人のいる所にパウロさん達を導かれたのです。
3. 聖霊様が「そっちではありません」と言うかのようにストップをかけられました。
4. 聖霊様は夜の幻の中で教えてくれました。マケドニヤ人が「マケドニヤに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい」とお願いする不思議な幻でした。
5. パウロさん達はただちに従っていきました。そこにはイエス様による救いを待っている人たちがいたのです。
6. そして同じ学校のお友達。たくさん居過ぎて、誰から教えてあげればいいのか分かりませんね。でも大丈夫、聖霊様が心に静かに教えてくださいます。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。